

# 育成会 かわさき



知的障害者親の会 会報 No.189

2018. 5. 1

第 52 回手をつなぐ育成会関東甲信越大会川崎大会  
平成30年9月14日（金） 開催

大会テーマ 「これからも ここで 暮らしたい」  
～「働く」と「高齢」から考える～



【分科会】川崎日航ホテル(10:15～12:30)

第1分科会「働く」～新しい働き方の選択肢を探る

1. 基調講演 「障害者の働き方はひとつじゃない」

須藤シンジ 氏 (NPO 法人ピープルデザイン研究所代表理事/TU Delft  
デルフト工科大学 Design United リサーチフェロー)

2. シンポジウム

- ・近藤武夫 氏 (東京大学先端科学技術研究センター人間支援工学分野准教授)
- ・須藤シンジ 氏 (前掲)

3. ティーチン

第2分科会「高齢」～親の支援亡き後の障害ある人の生活を考える

1. 基調講演 「高齢期の暮らしを地域で支えるための支援について」

福岡 寿 氏 (長野県北進圏域障害者総合相談センター所長/  
日本相談支援専門協会副代表)

2. シンポジウム「ここで暮らすを実現するために」

- ・福岡 寿 氏 (前掲)
- ・佐藤 嘉晃 氏 (大田幸陽会ラナハウス西糞谷前館長)
- ・田中 正博 氏 (全国手をつなぐ育成会連合会統括)
- ・又村あおい 氏 (全国手をつなぐ育成会連合会政策委員)

【本人会】川崎市 藤子・F・不二雄ミュージアム (バスツアー) と記念コンサート  
(10:15～16:00)

【全体会】ミューザ川崎シンフォニーホール (13:50～15:00)

大会式典・中央情勢報告・大会宣言ほか

【記念コンサート】(15:15～16:00)

ソプラノ 高橋 薫子 氏 ピアノ 河原 忠之 氏

【懇親会】川崎日航ホテル (17:30～19:00)

ホームページ

「川崎市育成会手をつなぐ親の会」で、検索してください。



## 都道府県・政令指定都市育成会代表者及び事務局長合同会議

会長 結城 眞知子

3月2日(金)にアットビジネスセンター東京駅八重洲通りでの会議に出席しました。「全国手をつなぐ育成会連合会の課題と今後の展望」を中心に報告します。

### <課題>

- (1) 各正会員や各支部の実態把握：2018年度中に調査を行い、会員呼称など、各県毎、市町村毎の違いを整理する。事務局や各支部の組織としての今後の見通しを把握する。
- (2) 次世代体制の強化：2019年度中に役割分担の変更方法など具体案について検討。具体的な提案等について調整し、短期計画、中期計画を作成する。
  - ① 幹事会の変更に向けての具体化→幹事会で担っている事業の業務分析をする。
  - ② 2年ごとの6月改選で見通しを立てる→三役、ブロック長、幹事会
  - ③ 会員獲得の具体策→段取り、手筈(はず)、見通しについて情報共有する。
    - ・地域育成会活性化事業の役割…役立ち所の確認
    - ・「手をつなぐ」活用方法の把握
- (3) 次世代体制への引き継ぎ：短期計画の中で、次世代への実行案を具体化し、幹事事業の引き継ぎ等を行う。中期計画の中で新体制への引き継ぎを行う。
- (4) 会費収入：毎年、年間平均400万円の減収への対策
- (5) 分担金の見直し：新しいルールに向けて考え方の整理



久保会長

### <今後の展望>

短期・中期計画の作成⇒2024年以降に次世代新体制が実現することを目標に、実行すべき必要な内容を行動指針としてまとめ、実行する行動計画を作成する。2018年には早急に課題を整理し、出来る課題から実行しつつ、2020年から実行する課題を短期計画としてまとめる。2022年から2024年にかけて実行する課題を中期計画としてまとめる。

当会も順調に次世代につないでいくことと会員のニーズに応えていくことが、使命であると改めて考えさせられた会議でした。

## 2017年度行政説明会

副会長 美和 とよみ

3月2日(金)全国手をつなぐ育成会連合会主催の行政説明会が行われ、障害者施策の現状と今後の方向性について、各省の担当から説明がありました。

1. 障害保健福祉施策の動向 厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課
2. 共生社会の実現に向けて 内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局
3. 障害者雇用の現状と課題 厚生労働省職業安定局障害者雇用対策課
4. 特別支援教育の現状と課題について 文部科学省初等中等教育局特別支援教育課
5. 障害者の障害を通じた多様な学習活動の充実について

文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課障害者学習支援推進室

平成30年度報酬改定では報酬全体で0.47%のプラス査定となった報告に始まり、障害福祉施策の予算から生涯学習まで、広範囲に及ぶ説明がありました。

- ・重度の障害者支援を可能とするグループホームの新たな類型「日中サービス支援型」
- ・一人暮らしの障害者を支援する「自立生活支援」
- ・介護保険と障害福祉サービスの共生型サービス
- ・地域生活支援拠点等の相談や緊急受入れ、地域の体制作り等の機能強化
- ・東京パラリンピックのレガシーとして「心のバリアフリー」をすすめる
- ・障害者とともに働くことがあたりまえの社会を目指す など

上記の他にも、注視していかなければならないことがたくさんありました。国の施策を知り、川崎市への要望として会員の声を届けることが必要です。



## 2017年度育成会フォーラム

日時：3月1日（木）13時15分～16時30分

場所：アットビジネスセンター東京駅八重洲通り

### 【基調講演1】計画相談で描くこれからのくらしの見通し



厚生労働省相談支援専門官 大平 眞太郎 氏

今まで多様なサービスを利用していない人の中にはセルフプランで済ませていた人も多くみられました。しかし、これからは計画相談を受けてモニタリングなどで相談支援専門員との関係を築き、そこから地域との連携も強化していかなくてはなりません。障害者本人の最善の利益の保障のために、様々な機関との連携が不可欠になります。

そのために、国の計画相談事業者に対する報酬が増やされます。また事業者の評価なども行われ、より質の高いサービスの提供が期待されます。

### 【基調講演2】計画相談で確認する地域生活支援のこれから



全国手をつなぐ育成会連合会「手をつなぐ」編集委員 又村 あおい 氏

相談支援（計画相談）で作成される「サービス等利用計画案」は障害者本人や家族にとってのライフプランとなります。つまり福祉サービスの組み合わせだけではなく、本人の現在や将来の展望を見据えながら考えなければならないのです。それが地域生活や親が支援できなくなった時の命綱となるのです。相談支援を受けることで様々な機関と

つながり、もしもの時に駆けつけてもらうための連携を作っておくことができるのです。

### 【シンポジウム】育もう 地域の安心ネットワークを区市町村で

シンポジスト

又村 あおい 氏

「手をつなぐ」編集委員

高木 誠一 氏

全国手をつなぐ育成会連合会 政策センター長

久保 厚子 氏

全国手をつなぐ育成会連合会 会長

進行

田中 正博 氏

全国手をつなぐ育成会連合会 統括

- ・相談支援の重要性を理解していない人が多いのが現実ですが、身上監護において親に勝るものはありません。親や家族がきちんとものを言えるようでない、相談支援は底上げされないと思うので親もきちんと制度を理解しなくてはなりません。（久保会長）
- ・漠然とした不安はほとんどの親が持っているはず。そのために人生設計を作っていく支援が必要です。困ったときに入る支援ではなく、当事者のより良い生活を作るための支援が行われるべきなのです。また、本人の意思決定支援の助けとして親の思いを書面にまとめておくことはとても有効なものです。（高木氏）
- ・地域生活支援体制の整備は地域によって進行に差があります。今住んでいる地域の状況を知ることは大切です。それぞれの地域で連携が進んで行くことが理想的です。（又村氏）
- ・後見人制度についても、より使いやすくしていく必要があります。当事者だけでなく家族も支援するような体制にするべきなのです。これからのライフストーリーを考え、残された財産をよりよく本人のために使えるような後見人制度が理想です。（田中統括）



私たち育成会は当事者や家族を支え、地域生活の中で様々な機関との連携の軸とならなければならないと改めて思いました。（梅田 順子）

## 『川崎市育成会手をむすぶ親の会第6回総会』開催のお知らせ

総会は代議員制とし、支部から推薦又は選出した代議員及び全会員から立候補して選出された代議員と会則第8条の役員のうち会計監査を除く役員をもって構成し、開催します。

日 時 : 平成30年5月31日(木) 10時30分～12時  
場 所 : 地域福祉施設「ちどり」1階 会議室

### 代議員数

支部名	定数
川崎支部	6
幸支部	3
中原支部	3
高津支部	4
宮前支部	2
多摩支部	4
麻生支部	2
田島支援学校支部	2
中央支援学校支部	2
立候補者枠	5

### 【議事】

1. 平成29年度事業活動報告(案)
2. 平成29年度決算報告(案)  
会計監査報告
3. 平成30年度事業活動計画(案)
4. 平成30年度予算(案)

- ・支部代議員数は最低2名とする。
- ・立候補者枠5名、役員6名
- ・代議員として立候補される方は、5月15日(火)までに各支部長にお申込みください。立候補者枠を超えた場合は抽選とさせていただきます。

## 平成30年度川崎市心身障害児者福祉大会

日 時 : 平成30年6月23日(土) 13時開始(受付12時30分～)  
会 場 : 川崎市総合自治会館ホール 川崎市中原区小杉町3-1  
\* 駐車場が狭い為、公共の交通機関をご利用ください。

### 大会スローガン「障害のある人もない人も共に生きる川崎の街に」

第一部 式典 13時～13時30分 実行委員長挨拶、大会宣言ほか  
第二部 映画上映 13時40分～15時30分(予定)  
「1/4の奇跡～本当のことだから～」

\*心身障害児者とその家族の地域福祉の向上を図る為に開催されます。  
多くの方の参加をお願いいたします。

### かわしん ふれあい市場のお知らせ

日時 5月18日(金曜日) 10時～15時  
場所 川崎信用金庫本店  
皆様、ぜひおでかけください



## 平成30年度川崎市への予算要望回答について

副会長 宮澤 明

2月19日（月）に川崎市から回答書が手渡された後、意見交換が行われました。

- ① 平間配水所跡地の拠点整備：24時間の相談対応をお願いしたい。通所施設併設型の短期入所では通所者以外は利用しにくいと聞く。職員体制からで土・日の利用はまだ受けてくれない。ライブリーのような短期入所を専門とする施設がもう1か所あるとよい。
- ② 「第1・第2やまぶき」の建替え：市からは同じ区内の老人デイサービスが廃止になるのでそこに移転する計画がある。跡地は拠点型として整備するとの説明があった。育成会としては移転ならば戻りたい人もいる。利用者を優先してほしい。
- ③ 市営大島住宅建替え残地にグループホームの併設：市からは残地には「かざぐるま」を移転させる計画がある。これに伴いわくす大島跡地に日中サービス型あるいはグループホームの整備を考えているとの説明を受け、グループホームを是非整備してほしい。
- ④ ミドルステイ：川崎市からは、「桜の風」は1か月だが少し伸ばしてくれるとの説明があったが、育成会としては3か月まで同じところにいることのできる制度を創設していただきたいと意見を述べました。



また、二次避難所のあり方を検討していることや、地域包括ケアシステムでは各保健師が地区カルテをつくることで動いていることなどの説明がありました。

回答書では、要望について多くは継続扱いとなりましたが、意見交換では行政と問題意識を共有できたと思います。限られた予算の中で、優先順位がありますが、諦めずに、繰り返し繰り返し市へ要望していくことが大事です。要望課題について、今後とも行政の運営状況を注視したいと思います。

川崎市育成会・やまゆりとの共催研修会

### 親亡き後も知的障害者が暮らすためのお金について2

～知的障がいのあるわが子の生活を誰に託すか～



研修推進委員会副委員長 神田 明子

2月20日（火）川崎総合福祉センター（エポック中原）にて研修会を行いました。武蔵中原駅直結の施設でとても便利な所でした。一昨年、昨年に引き続き又村あおい氏に講師をお願い致しました。今回は必ず訪れる子どもとの別れに対する準備と方法、子どもに充実した人生を送らせるにはどうしたらいいのかを講演していただきました。

はじめに、前回までのおさらいとしてライフステージに応じたお金のこと、児童期と成人期の収入要素と支出要素や利用できる公的制度などの説明がありました。

その後、私的備えの場合の扶養共済制度や加入可能な保険について説明があり、本題の備えたお金をどのように託すのかというお話をしてくださいました。相続・贈与にまつわる課税の話の中で、親が子どもの名前で預金を行う名義預金に関して、相続時にリスクが出ることがあるので、子どものためにとということであれば、毎年110万円までの贈与申告（年110万円以上が贈与税の対象になる）をするのがいいというアドバイスがありました。最後に成年後見制度についてお話していただきました。

2時間という短い時間の中でいろいろと盛りだくさんではありましたが、分かりやすい説明で、とても勉強になった研修会でした。

## やまゆり知的障害児者生活サポート協会 本人・支援者研修会

余暇活動委員会 安達 ゆかり

2月23日（金）厚木市文化会館4階集会室にて『みんなで見える知る見るプログラム』が開催されました。今回、手をつなぐ育成会関東甲信越大会川崎大会の「本人会」を担当するための準備として余暇活動委員の3名で参加しました。

まず、7つのグループに分かれ、班の中で、自己紹介をしてから、プログラムに入りました。

○×クイズは、○と×の札を持ち、「平昌冬季オリンピックで、日本はメダルを13個とった」「障害のある人はひとり暮らしができる」などの質問にしっかり答えていました。いろいろなことを前向きに考えていることを知り、とてもうれしく思いました。サイコロトークでは、仕事、余暇、家族、友達、夢、障害の面があり、出た面のカードの質問に答えます。「仕事」のカードでは、パン屋さんや機械の分解のお仕事の話が聞け、皆さんと楽しくコミュニケーションをとることが出来ました。

最後は「どこで、誰と、どのように住みたいか考えよう」というシートを、文字やイラストの切り抜きなどで完成させました。

近藤副委員長は、隣にいた女性のお話を聞きながら、シートを作成していたのですが、その丁寧な支援が、司会の永野さん（愛名やまゆり園）の目にとまり、作成過程を発表することになりました。女性が答えを出すまで待ち、その都度、確認しながら、絵を切り取り、貼る作業を進めたそうです。

障害があっても、夢や希望をもっている方々にお会いでき、貴重な経験となりました。



## 研修会「知的障害のある人が安心して受診するために」

～川崎市の歯科医療機関での障害児者対応の現状と取り組みについて～

講師 公益社団法人川崎市歯科医師会常務理事

高森 勝久 氏（やまぐち歯科医院、歯科保健センター歯科医師）

3月20日（火）KSP ホテル（かながわサイエンスパーク）会議室において、研修会が開催されました。

障害をもつ人の中には、幼少のころに歯科検診や治療で本人も親もすっかり懲りてしまった、という経験を持つ方も多いのではないのでしょうか。また、歯科保健センターの診療時間や曜日が限られていて行きにくい方、本当はいかなければいけないけれど、なかなか足が向かない方、先生は、そのようなどこの歯科にも通っていない人の健康状態を心配していました。歯が痛かったら食事に影響します。また、虫歯のない人でも歯肉の状態が悪かったり、歯周病にかかったりしていると健康に影響します。口腔内の健康状態は、体にとっても重要です。そのような方は、ぜひ、どこかで歯科に関わって欲しい。まず、歯科保健センターに連絡して試してみたい。歯科医師も研修を受けて、障害のある人にとって負担にならない診療ができるよう努力をしているとのこと。

一般の歯科に行きにくい人こそ虫歯を作らないという予防が何よりも大切なのです。

講演の後の質疑応答では、たくさんの質問が寄せられました。現実として、診療に携わる歯科医師全員が知的障害者を理解できているわけではなくても、研修などを通して、負担にならない診療を目指している、と先生は落ち着いた穏やかな語り口で、語ってくれました。もしも、「歯科に行かなければならないのだけれど…」と迷っている方がいるなら、今勇気を出して歯科保健センターに連絡をしてみませんか。その一歩から道が開けるかもしれません。

（高山 君子）



## 『おしゃべり塾』～成年後見制度について・基礎編～



3月9日(金)地域福祉施設「ちどり」にて権利擁護委員会主催の「おしゃべり塾」が開催されました。出席された方は12人です。今回は成年後見制度について田部井恒雄氏(NPO法人かわさき障がい者権利擁護センター理事)のお話を伺いました。主に家庭裁判所への申し立て

を中心として制度を説明され、また問題点をあげて、障害者本人(被後見人)の権利を守る考えと手立てを述べられました。たとえば後見人によってお金の使い方等を制限され過ぎない様に本人の意思を尊重した支援計画を作ることを勧められました。大きな問題点としては後見人に医療の同意権が無いことをあげられています。出席者からも「親族がいない場合、意思表示の難しい障害者の医療の決定はどうなるのか」という主旨の質問が出されました。これに対して田部井さんの「医師の判断に委ねる」という考えを伺って、親亡きあとの医療に不安があることがよくわかりました。

安心して託せる制度に変わって欲しいと願いますし、この問題についての議論や提言に注意していきたいと思いました。このように障害者の権利を守る視点から成年後見制度を考える機会となりましたが、お話はわかりやすく質問にも多く答えて頂き和やかな雰囲気でした。実際に後見をされている出席の方からも経験上のお話を伺うことができ大変参考になりました。

(小澤 千枝)

NPO法人かわさき障がい者権利擁護センター

## 模擬相談会 「親亡き後のために、今すべきこと」



1月18日(木)高津市民館において「相続と遺言・意思の尊重」をテーマに、第2回模擬相談会が行われました。

【事例1】講師 神谷 直 司法書士「50代重度知的障害の女性が父親の遺産を相続する場合」遺産分割協議には後見人が必要ですが、遺言書があれば煩雑な作業の多いなか、後見人申立の作業を省いて相続ができます。

【事例2】講師 大石 剛一郎 弁護士「40代重度知的障害の男性が住まいを選択する場合」厚生労働省通知の意思決定支援ガイドラインでは、意思決定の支援者(事業者や後見人など)は意思表示の難しい方の意思確認を最大限の努力で行い、賢明と言えない内容でも本人の意思を尊重し工夫するように述べられています。講師はこのような支援とともに親は本人の意思表示の意欲を育てる努力が大切だと話されました。

親亡き後の生活を予想して相続や住まいについて家族で話し合うこと、日頃から本人の意思を尊重し満足できる体験を増やすことが大事だと思いました。

(小澤 千枝)



3月12日(月)多摩市民館において、今年度3回目の模擬相談会が行われました。この相談会は、南部、中部、北部の3回とも同じ内容で行われ、毎回多くの参加があります。別日になりますが、専門家が個別相談に応じてくださるので、個人的な相談をすることができ、日頃の不安を解消することができます。

いろいろな問題について学び、子どもに合うものを見つけたいと思います。(美和 とよみ)

### 『手をつなぐ』を購読しませんか！

全国手をつなぐ育成会連合会の機関誌『手をつなぐ』は、知的障害のある人の暮らしに役立つ情報が満載です。年間3,900円で毎月お届けします。購読のお申し込みは、各支部役員までご連絡ください。



## 支部通信

### たかつボランティアまつり

高津支部 三浦 ルイ子

1月19日（金）てくのかわさきに於いて行われた、たかつボランティアまつり（ボランティア・当事者団体交流会）に参加しました。知的障害者の親の会であることや活動をより多くの方々に知っていただきたく、スピーチのほか、パネルも展示しました。各テーブルに置かれたお菓子の中には障害者施設のクッキーもありました。「高津わいわい茶話会」にも来ていただいたテントラちゃんも一緒に、各団体のライブパフォーマンスや健康体操でも楽しみました。



### さいわいみんなの交流広場

幸支部 高山 君子



3月3日（土）幸区役所で開催された幸区市民活動交流イベント「さいわいみんなの交流広場」に、幸支部として初めて出展しました。このイベントは、区内で活動している市民活動団体を、区民に知ってもらうとともに、交流することを目的として開催されました。様々な分野の市民活動団体がブースを出して、活動の実演、体験コーナー、パフォーマンスなどのPRをしました。当日の来場者は200人を超えたとのことで、幸支部は、展示のみの出展でしたが、広報紙を手にとったり、質問

をされたりと、少しずつでも着実に地域で根差していく一歩になったのではと思います。来年は、皆様もぜひご参加ください。

### 『なかパラ』に参加して

中原支部 吉野 明美

3月12日（月）中原区役所前広場で開催の『なかパラ』（パラ×地域包括ケアの体験イベント）で、知的障害者疑似体験を行い、知的障害者理解の啓発活動をしました。



「ちょっと」という抽象的な言葉かけは理解できないだけでなく混乱させてしまうことや、細かい作業が苦手な人が多いこと、興味のあるものしか見えていないことなどを、体験を通して理解していただきました。

知的障害者は、何に困って、どんな支援が必要か分かりづらいが、「知的障害」に理解のある人が何よりの支援になることを伝えました。

参加者は、主婦・保育士・外出支援ヘルパー・施設職員などいろいろでしたが、「そういうことだったのね」「どうしたら良いのか分からなかった」など、身近に感じていただける感想を聞くことが出来たので、『なかパラ』に参加して改めて啓発の必要性を実感しました。

### おしゃべり多摩

多摩支部 神田 明子

3月26日（月）福祉パル多摩の研修室で行いました。先に行われた当会の研修会の話や子どもの将来のことや自分がもし認知症になってしまったらどのようにすればいいのかという真面目な話をしていたかと思うと、お茶菓子のことや古いコーヒーポットについて



のこととかいろいろな話になりました。マイナンバーカード申請の話がきっかけとなり子どもさんの療育手帳の写真を見せていただいて盛り上がるひとときもありました。

次回は5月23日（水）開催します。こんな話をしたい、聞きたい、困っていることがあるなど、どんなことでもかまいません。みんなでおしゃべりをしましょう。お待ちしております。



## 春の宿泊レクリエーション 寺泊海岸温泉バス旅行

3月4日（日）～5日（月）、新潟県の寺泊温泉へのバス旅行を行いました。

月夜野びどろパークで、色とりどりの砂とガラスの小物を組み合わせて、キャンドルづくりを体験しました。その後、日本海に浮かぶ寺泊水族博物館では、館内展示の生物だけでなく、海に囲まれているのでカモメやウミネコなどの海鳥も楽しめました。



宿は日本海に面した温泉で、美しい夕日を見ることができました。夕食は、蟹やお刺身の海の幸と美味しいお米のご飯など、盛りだくさんのお料理をいただきました。



2日目は、新潟ふるさと村バザール館で、お酒をはじめ新潟名物のお土産で皆さんの両手はいっぱいになっていました。その後、高崎市のファームクラブ中里農場で、イチゴ狩りを行いました。クラシックを流しながら育てたイチゴということですが、モーツァルトの調べの中で食べるイチゴは甘くてとてもおいしかったです。2日間、ゆったり楽しい旅になりました。（吉野 明美）

## 私たちの広場 「料理教室」

支援員 数金 和子

2月4日（日）平成29年度最後の行事の料理教室を川崎市栄養士会協力のもと行いました。今回のメニューはハヤシライス・キャベツとコーンのスープ・いちご白玉餡子にアイスクリームを載せたデザート。



恒例ということもありスーパーでの買い物もスムーズに済ませ、てくのかわさき調理実習室へ。13人の参加者は2班に分かれ栄養士



の方々の指導を受けながら慎重に包丁を使い、焦げないように炒めたり煮込んだり、時には真剣な眼差し、時には笑顔で完成させました。

同じ材料で同じ分量なのに、それぞれ少しずつ違う味になっていました。切り方、火加減が違うのではとの声もありましたが、皆さん「美味しいね～」と満足そうなお顔で今年も楽しく活動ができました。

**2018年度版**

**知的障害児者・自閉症児者のための**

### 生活サポート総合補償制度

普通傷害保険(知的障害者等福祉団体傷害保険特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット)

<p><b>被保険者</b> (補償の対象者)</p> <p>知的障害児者または自閉症児者をご加入できます。</p>	<p><b>補償期間</b> (保険のご契約期間)</p> <p style="text-align: center;"><b>2018年4月1日から</b> <b>1年間</b></p>	<p><b>掛金</b></p> <p>入院2日目から補償プランB 掛金… <b>23,000円</b> (保険料 19,810円)</p> <p>入院4日目から補償プランA 掛金… <b>17,000円</b> (保険料 14,810円)</p>
--	--	--

詳細は担当代理店・医者または引受保険会社にお問い合わせください。また、ご契約に際しましては、事前に重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報)を必ずお読みください。引受保険会社の損害保険専業人は、保険契約の締結の代理権を有しています。AIU損害保険と富士火災海上保険は、関係各社の認可等を前提として、2018年1月1日に合併による経営統合を行い、「AIG損害保険」になります。

保険のお問合せはこちら

担当代理店・医者  
**株式会社 ジェイアイシー**  
〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11  
新宿三井ビル2号館2F  
TEL: 03-5321-3373 FAX: 03-5321-4774  
受付時間: 午前9時～午後5時  
(土・日・祝日・年末年始を除く)

ご加入のお問合せはこちら

引受保険会社 (2018年1月1日以降)  
**AIU損害保険株式会社** **AIG損害保険株式会社**  
http://www.aiu.co.jp http://www.aig.co.jp/sorpo/  
**東京第二プロチャネル営業部**  
〒163-0814 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿N5ビル14階  
TEL: 03-6894-9110  
受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

一般社団法人やまゆり知的障害児者生活サポート協会  
〒221-0844 神奈川県横浜市神奈川区9区4-2  
神奈川県社会福祉会館内  
TEL: 045-314-7716 FAX: 045-324-0426  
受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)  
2017年11月現在の内容です。(A-000801 2018.11)

※平成29年度は加入者8,931名、死亡退会者他122名で8,809名の会員となりました。今年度もご加入よろしく願いいたします。

## 川崎市関係主要職員の紹介（平成30年4月1日現在）

### 【健康福祉局】

健康福祉局長	北 篤彦
障害保健福祉部長	吉川 勉
障害保健福祉部担当部長	左近 志保
障害計画課長	柳原 成行
障害計画課担当課長〔事業者指導〕	石原 明敏
障害福祉課長	砂川 康弘
精神保健課長	神林 高之
障害者雇用・就労推進課長	西川 洋一
精神保健福祉センター所長	*竹島 正
精神保健福祉センター担当課長〔庶務〕	津田 多佳子
こころの相談所長	柴崎 聡子
障害者更生相談所長	*山内 秀行
障害者更生相談所担当課長〔南部地域支援室〕	山田 敦
障害者更生相談所担当課長（発達相談支援）	*中山 浩
井田障害者センター所長	森江 信子
百合丘障害者センター所長	宮川 真理子

\*印の方は障害保健福祉部担当部長ですが、事務取扱として記載の職を担当しています。

## 平成29年度特別支援学校等卒業生の進路状況

### 1. 卒業の状況

学校名	卒業生数
市立中央支援学校	66
市立田島支援学校	39
市立豊（ろう）学校	0
県立鶴見養護学校	1
県立中原養護学校	27
県立高津養護学校	42
県立麻生養護学校	28
市外特別支援学校	22
その他の学校	59
合計	284



### 2. 近年の特別支援学校等卒業生進路状況

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	
日 中 活 動	就労移行	37	33	32	11.3%
	就労継続	19	25	16	5.6%
	生活介護	78	72	77	27.1%
	自立訓練	1	0	0	0.0%
	地域活動支援センター	5	8	7	2.5%
	計	140	138	132	46.5%
入所		3	6	1	0.3%
就職		67	67	61	21.5%
職業訓練機関		6	1	8	2.8%
進学		12	17	7	2.5%
その他		33	29	75	26.4%
合計		261	258	284	100.0%

川崎市育成会手をむすぶ親の会活動報告  
 《平成30年1月19日～平成30年4月24日まで》

<各種会議、行事>

1月19日(金)	関東ブロック代表者会議会場打合せ	川崎日航ホテル
23日(火)	平成29年度第5回権利擁護委員会	地域福祉施設「ちどり」
26日(金)	関東ブロック川崎大会実行委員会	地域福祉施設「ちどり」
31日(水)	平成29年度第5回余暇活動委員会	地域福祉施設「ちどり」
2月8日(木)	三役会	地域福祉施設「ちどり」
19日(月)	予算要望回答	ソリッドスクエア
20日(火)	やまゆり知的障害児者生活サポート協会との共催研修会	エポックなかはら
28日(水)	三役会	地域福祉施設「ちどり」
3月4～5日	春の宿泊レクリエーション	新潟県寺泊
6日(火)	平成29年度第4回広報委員会	地域福祉施設「ちどり」
9日(金)	おしゃべり塾	地域福祉施設「ちどり」
13日(火)	平成29年度第11回運営委員会	地域福祉施設「ちどり」
16日(金)	平成29年度第6回権利擁護委員会	地域福祉施設「ちどり」
19日(月)	平成29年度第5回研修事業推進委員会	地域福祉施設「ちどり」
20日(火)	歯科医との研修会	ホテルKSP
4月13日(金)	三役会	地域福祉施設「ちどり」
19日(木)	関東ブロック川崎大会プロジェクト全体会議	地域福祉施設「ちどり」
24日(火)	平成30年度第1回運営委員会	地域福祉施設「ちどり」

各支部の新年懇談会の様子は、ホームページをご覧ください。

<対外行事>

1月25日(木)	平成30年成人を祝う会⑤実行委員会	地域福祉施設「ちどり」
29日(月)	神奈川新聞「市民発」の取材	市民活動センター
30日(火)	県特別支援学校知的障害教育校PTA連合会40周年記念式典等	カルツかわさき
2月14日(水)	関東ブロック連絡協議会代表者会議	川崎日航ホテル
22日(木)	平成29年度第4回障害者団体部会	エポックなかはら
3月1日(木)	全育連・育成会フォーラム	アットビジネスセンター
2日(金)	全育連・正会員育成会代表者及び事務局会議	アットビジネスセンター
2日(金)	全育連・行政説明会	アットビジネスセンター
9日(金)	川崎市立中央支援学校高等部卒業式	川崎市立中央支援学校
19日(月)	親の会3団体会議	地域福祉施設「ちどり」
19日(月)	川崎市差別解消支援地域協議会	ソリッドスクエア
23日(月)	やまゆり生活サポート協会理事会	神奈川県社会福祉会館
26日(月)	川崎市障害者施策審議会	ソリッドスクエア
28日(水)	川崎市社会福祉事業団評議委員会	事業団法人本部

賛助会費 (順不同・敬称略)

結城 眞知子	川崎区藤崎	10,000円	小林 文夫	高津区梶ヶ谷	5,000円
山田 勝子	高津区末長	10,000円	滝本 美津江	高津区久末	5,000円

※1,000円以上の方を記載しています。



春の宿泊  
レクリエーション

### 編集後記

新年度になって最初の広報紙をお届けします。9月14日（金）に開催する「手をつなぐ育成会関東甲信越大会川崎大会」の準備もあり、みんな忙しい中でしたが原稿のメ切り日にきっちりと間に合いました。大会までに、次号の発行も待っています。これからも、頑張っていきましょう。  
（広報委員長 三浦 ルイ子）

#### 【もくじ】

- P. 1 .. 関東甲信越大会川崎大会
- P. 2 .. 正会員育成会代表者及び事務局長合同会議／2017年度行政説明会
- P. 3 .. 育成会フォーラム
- P. 4 .. 総会開催のお知らせ／福祉大会のお知らせ／かわしんふれあい市場のお知らせ
- P. 5 .. 平成30年度川崎市への予算要望回答について／やまゆりとの共催研修会
- P. 6 .. やまゆり本人支援者研修会／研修会
- P. 7 .. おしゃべり塾／模擬相談会／『手をつなぐ』のお知らせ
- P. 8 .. 支部通信
- P. 9 .. 春の宿泊レクリエーション／私たちの広場／やまゆり広告
- P. 10 .. 川崎市主要職員の紹介／卒業生の進路状況／近年の卒業生の進路状況
- P. 11 .. 活動報告／賛助会費
- P. 12 .. 春レクフォトギャラリー／編集後記／もくじ

発行責任者 川崎市育成会手をむすぶ親の会 会長 結城 眞知子  
〒213-0011 川崎市高津区久本 3-6-22 地域福祉施設「ちどり」  
TEL : 044-812-2966 FAX : 044-813-1216 <http://web-k2.jp/ikusekai-kawasaki>